

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 14 日 (2013.2.14)

【公開番号】特開 2011-191320 (P2011-191320A)

【公開日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2011-039

【出願番号】特願 2011-122089 (P2011-122089)

【国際特許分類】

G 0 1 C 15/00 (2006.01)

G 0 1 C 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 15/00 1 0 3 C

G 0 1 C 15/02

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 25 日 (2012.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基準面に配設可能であって、平板形状のレーザー水準器であって、ハウジングと、

前記ハウジングに配設されていて且つ第 1 の経路に沿って第 1 のレーザービームを発するための第 1 のレーザーダイオードと、

前記ハウジングに配設されていて且つ距離計測のための電子式距離計測回路と、

前記ハウジングに旋回可能に接続される振り子と、を具備するレーザー水準器において

、
前記振り子はナイフエッジ式であり、

前記第 1 のレーザーダイオードは、前記振り子に配設されており、

前記第 1 の経路において前記振り子に配設されていて且つ前記第 1 のレーザービームを第 1 の平らなビームに変換するための第 1 のレンズを更に具備しており、前記第 1 の平らなビームは前記基準面に第 1 の線を形成しており、

前記振り子に配設されていて且つ第 2 の経路に沿って第 2 のレーザービームを発するための第 2 のレーザーダイオードと、前記第 2 の経路において前記振り子に配設されていて且つ前記第 2 のレーザービームを平らなビームに変換するための第 2 のレンズと、を更に具備しており、前記平らなビームは前記基準面に第 2 の線を形成しており、

前記第 1 のレーザーダイオードと前記第 2 のレーザーダイオードは、対向する状態で、一直線上に配置されており、前記第 2 の線は、前記第 1 の線の反対方向に照射される、レーザー水準器。

【請求項 2】

前記距離計測回路はレーザー送信機を具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 3】

前記距離計測回路はレーザー受信器を具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 4】

前記距離計測回路は音響送信機を具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 5】

前記距離計測回路は音響受信器を具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 6】

前記距離計測回路は前記ハウジングに配設された表示器を具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 7】

前記ハウジングに配設されていて且つ前記基準面の後又は下の形状を検知するための検出回路を更に具備する、請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 8】

前記検出回路は、スタッド、ワイア及びパイプから構成されるグループの内の少なくとも一つを検知する請求項 7 に記載のレーザー水準器。

【請求項 9】

前記ハウジングは前記振り子を少なくとも部分的に囲む請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 10】

前記ハウジングは、前記第 1 の平らなビームを射出可能にするための少なくとも一つの窓を具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。

【請求項 11】

前記ハウジングにおける少なくとも一つの泡小瓶を更に具備する請求項 1 に記載のレーザー水準器。